



けんちくだいく 建築大工

住

主に、木造建築の施工やリフォームを行う。
指導的な立場になると「棟梁(とうりょう)」とも呼ばれる。



ここに技あり!!

大工の7つ道具(さしがね、すみつば、ちょうな、かなな、のみ、のこぎり、かなづち)を中心に様々な道具を自分の腕のように

操り、複雑な作業をこなしていきます。棟梁を中心に、卓越したチームワークで、設計・施工だけではなく建物全般の問題を解決しながら建物を作り上げていきます。

建築大工は家を建てるのが仕事です。木造建築物の新築、リフォーム、修繕工事などを施工します。

木材などの材料を加工し、土台から骨組み、屋根や壁、天井などの下地を作ります。内装の段階では、他の専門の職人が施工するなど、現在では分業化が進み、いろいろな職人の協力で1軒の家が完成します。「棟梁」と呼ばれる親方は、現場を統率し指揮す

るリーダーとして、重要な役割を担います。

7年程度で一人前と呼ばれるようになり、9~10年程度で独立する人もいます。

近年は、工場で裁断・加工された木材や電動工具を使用したり、コンピュータで設計図面を描いたり、伝統的な大工仕事から変化しつつあり、技術の進歩や多様化に柔軟に対応する能力が求められます。

仕事の魅力

茶室など、一般的な住居とは異なる施工には、独特な空間ゆへの難しさがあります。何もない場所に物が建つことで、平面だったものが立体となって地図に残ります。身体を使って行う手仕事に、大きなやりがいを感じます。

●学ぶ

建築系の大学・専門学校・高校など
横浜建築高等職業訓練校

●磨く

技能検定:建築大工技能士1~3級 建築施工管理技士1~2級
建築士

●活かす

工務店や建設会社に就職し、一般住宅の建築やリフォームなどを施工する。
棟梁になると建築現場を統率する役割を担う。経験を積んで独立開業も可能。